

科目区分	専門教育科目	科目名	比較文化		科目コード	21L450	担当者	奈良 望			
対象学生	生活創造学科 ビジネス・医療秘書コース 2年生	学期区分	後期		単位数	2	担当形態	単独			
		授業形態	講義								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	必修				
						免許・資格要件	秘書士選択必修				
科目の主題						学修成果との関連 (大◎、中○、小△)					
幕末以後の約160年間、日米両国の関係は戦時も含め密接なものである。この近くで遠い国である米国について学ぶことによって、自国日本をより深く理解することを目指す。						1. 「 <b>良心</b> 」 誠実な人柄と 人間力	2. 「 <b>創造</b> 」 高度な知性と 創造力	3. 「 <b>実践</b> 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考力・判断力・創造力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	米国の成り立ちを理解する。										
2.	日米の相違点及び共通点を知る。										
3.	視野を広げることによって日本への理解を深める。										
4.	世界の中での米国及び日本の立ち位置を知る。					○		○		○	
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						プレゼンテーション・提出物 (60%) 受講態度 (40%)					
講義形式を取るが全般的・概念的にならないようにし、具体的な事象をなるべく取り上げ、各時代を生きた人々の生き方・考え方を理解してもらるように努める。知識ではなく考え方に関する質問を通して学生の発表機会を多く持つよう努める。											
課題等への対応						授業外学修時間					
レポートはコメントを付けて返却し、更なる意見・質問を促す。						毎日ニュースに目を通す習慣を身に着ける。(15分)					
回数	授業計画					学習課題 (予習・復習)					
第1回	文化の概念					海外ニュースへの定期的アクセス (15分)					
第2回	米国の成り立ち (英国の植民地はなぜ独立を目指したか?)					海外ニュースへの定期的アクセス (15分)					
第3回	南北戦争 (1861-1865) と明治維新 (1868)					海外ニュースへの定期的アクセス (15分)					
第4回	二十世紀における日本の膨張と太平洋での激突					海外ニュースへの定期的アクセス (15分)					
第5回	第二次世界大戦後の日本の発展と米国との関係					海外ニュースへの定期的アクセス (15分)					
第6回	多民族社会の明暗					海外ニュースへの定期的アクセス (15分)					
第7回	Presentation1					海外ニュースへの定期的アクセス (15分)					
第8回	Presentation2					海外ニュースへの定期的アクセス (15分)					
第9回	Presentation3					海外ニュースへの定期的アクセス (15分)					
第10回	Presentation4					海外ニュースへの定期的アクセス (15分)					
第11回	American Pop Cultureの拡がり					海外ニュースへの定期的アクセス (15分)					
第12回	教育に見る日米の違い					海外ニュースへの定期的アクセス (15分)					
第13回	銃社会の論理と思想 (提出物)					海外ニュースへの定期的アクセス (15分)					
第14回	世界の中のアメリカと日本					海外ニュースへの定期的アクセス (15分)					
第15回	日米関係の未来					海外ニュースへの定期的アクセス (15分)					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	必要に応じプリント等を配布。					受講生へのメッセージ	時代や環境によって人の考え方や生き方は影響を受けることを理解し、他者に対する想像力を育てましょう。				
参考書等	なし										